

(別記様式)

令和6年度 府立桃山高等学校(定時制) 学校経営計画(スクールマネジメントプラン) (計画段階) ・ 実施段階)

学校経営方針(中期経営目標)	昨年度の成果と課題	本年度学校経営の重点(短期経営目標)
1 「働きながら学ぶ」という定時制教育本来の意義・目的を正しく認識させ、自主的・計画的に学ぶ生徒を育成する。 2 基礎学力の向上を図る。 3 基本的な生活習慣の確立に努める。 4 指導内容、指導方法の工夫に努め、学習意欲を喚起し、教育効果を高める。	成果 (1) 各学年や各分掌が相互に連携を取り、安心・安全な学校作りに努めた。また、生徒会活動を大切に、多くの校内行事を工夫して成功に導くとともに、クラブ活動の積極的参加を促すなど、多様な生徒に対して各方面で教育成果を上げた。 (2) 進路実現に向けて、「キャリア教育講演会」など、早い段階から進路指導の充実に努めるとともに、各関連企業・機関との連携指導を丁寧に行い、多くの生徒の進路の実現を目指して粘り強く指導した。 (3) 設備面では全日制と併置されている現状において、教務部を中心に校内的な調整を丁寧に行い、教育活動が円滑に進むよう努めた。 課題 (1) 基礎学力の定着及び基本的な生活習慣の確立を図り、希望進路の実現に向けたキャリア教育の一層の充実が重要である。また、クラス担任や教科担当者、関係分掌等が生徒の情報を共有し、個々の生徒の状況に応じた指導方法や指導内容等の工夫をさらに図る必要がある。 (2) 安心・安全な学びの場を確保するため、問題行動等の未然防止を図るとともに、生徒の自尊心や自己有用感を高めるための取組を一層充実させる必要がある。	1 卒業を目指し、高等学校で学ぶこと、並びに「働きながら学ぶ」ことの意義を理解させるとともに、学校生活に目標・目的を持たせることにより、学校生活への定着を図る。 2 生徒が共に学び、助け合い、励まし合う集団の育成を目指して、生徒会活動を大切にしたい取組を進めるとともに、様々な学校行事の充実に努める。 3 希望進路の実現に向けて、3年間・4年間を見通して、早期より、計画的にキャリア教育を推進する。 4 発達支持的生徒指導の視点を持ち、課題予防的生徒指導に取り組むとともに基礎学力の定着と生活習慣の改善を図り、社会性や規範意識の涵養に努める。 5 特別な支援を要する生徒については、外部機関と連携しながら、特別支援会議を中心として支援の内容を明確化、全体化して、適切な指導に努める。 6 学年部と各分掌や、教科担当とクラス担任の情報交換の体制を作るとともに、家庭や関係機関と丁寧に連携を図り、組織的に課題解決のための取組を進める。 7 ICTを活用した教科・ホームルーム指導を積極的に進め、情報活用能力を養う。

※ 評価について A…十分達成できた B…おおむね達成できた C…あまり達成できなかった D…ほとんど達成できなかった

評価領域	重点目標	具体的方策	評価	成果と課題
生徒指導	<ul style="list-style-type: none"> 平和で安全で楽しい学校作りに向けた取組の推進 	各学年・各分掌との密接且つ組織的な連携による平和で安全な学校作りに向け、オリエンテーション等を活用しながら発達支持的生徒指導に努め、日頃からの密なコミュニケーションを通じて課題予防的生徒指導を実践し、それでも問題行動が生じた場合には迅速且つ適切に対処する。		
		生徒が学校に定着できるよう学校生活を楽しいと感じられるものにすべく、生徒会と連携して文化祭を始めとする各行事に積極的に取り組ませて学校生活を充実させ、また部活動を通じて人間関係の幅を広げつつ活動に対する明確な目標を持たせそれに向けて努力する事での自己肯定感を培う手助けをする。		
学習指導	<ul style="list-style-type: none"> 生徒の実態に即した教育課程の編成と実施 個に応じた適切な学習指導の実践 	多様な観点による学習評価の工夫や改善を図るとともに、教育課程についてさらに研究を深める。		
		生徒の学力を的確に把握し、基礎・基本を踏まえた粘り強い指導を実践する。 生徒の実態に応じてICTを利活用した学習指導の工夫を図る。		
進路指導	<ul style="list-style-type: none"> 個々の生徒の希望進路実現に向けた取組みの推進 	進路意識を高めるため、キャリア教育を充実し、推進する。		
		個々の生徒の希望進路を把握し、その実現に向けて、各学年や各分掌、外部機関と密に連携を図る。		
健康教育	<ul style="list-style-type: none"> 心身ともに健康な生活習慣の確立に向けた取組の推進 	健康上の配慮や支援の必要な生徒に対する指導を組織的に推進していく。		
		生徒の食生活の実態を把握し、食育の一環として、給食を通じた望ましい食生活習慣の確立を目指す。		
図書	<ul style="list-style-type: none"> 図書館の利用を活性化させ、読書を通じて教養を広げ、心豊かな生徒の育成を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> 宣伝・広報活動を行い図書館活用の促進をする。 各教科や学年団、各部との連携を取り、図書館や視聴覚機材の活用を図る。 		

<p>第1学年</p>	<ul style="list-style-type: none"> 毎時の授業を大切にし、進級を目指す 学校生活やアルバイトなどの経験を積むことで自己理解を深め、成長する 一人一人が集団の形成者であることを自覚し、安心安全な学校生活を目指す 	<p>クラスを越えて情報共有を行い、学年部として生徒対応にあたる</p> <p>学校のシステムやルールについて繰り返し説明する</p> <p>関係分掌や保護者との情報共有および連携に努める</p>		
<p>第2学年</p>	<ul style="list-style-type: none"> 生徒1人1人の進級をめざす。 自他共に認め合う関係をつくり出す。（自己肯定感をもたせる。人格の違いを認め合う。 学年集団として安全で安心して学べる、楽しい学校生活をめざす。 	<p>クラスを越えて、生徒の情報を共有する。担任団として学習・生徒指導にあたる。</p> <p>授業を大事にする生徒たちの雰囲気や学習集団、学年集団へと広げていく。</p> <p>関係各部との連携、迅速な対応。保護者への説明、子どもに対する理解と保護責任の協力を得る。</p> <p>障害のある生徒に対して昨年に続き丁寧な指導をする。</p>		
<p>第3学年</p>	<ul style="list-style-type: none"> 自他共に認めあう関係を深める（自己肯定感を持たせる。人格の違いを認め合う） 学年集団として安全で安心して学べる楽しい学校生活を目指す。 成人としての自覚を持ち、卒業後の進路を考えて行動できるようになる。 	<p>クラスを越えて生徒の情報を共有し、学年全体を担任するという意識で指導にあたる。</p> <p>関係各部との連携、迅速な対応。保護者への説明、子どもに対する理解と協力を得る。</p> <p>進路を意識できるよう声かけや情報提供をして、進路希望の方向性を持たせるようにする。自立自覚できるように支援する。</p>		
<p>第4学年</p>	<ul style="list-style-type: none"> 良い学年集団を形成する 生徒一人一人が自立自覚できるようにする 卒業後の進路目標を定め、その実現に向けて取り組む 	<p>日々の授業を大切に欠席をしない</p> <p>自分を認めるとともに、他人も認めて、人間関係を大切に考える</p> <p>ルールを守り、行事を大切に、楽しく学校生活を送る</p>		

事務・施設	<ul style="list-style-type: none"> 安心・安全な学習環境の確保と効率的かつ効果的な予算執行の実現。 	<p>長寿命化改修工事による2号館の移転に伴い、教育活動への影響を最小限に抑えるとともに、危険箇所、不具合箇所の早期発見、早期改修を行うことで、円滑な学校運営と学習環境の確保に努める。</p> <p>学校全体や各分掌・教科の状況を踏まえ、計画的な予算執行と経費節減に努める。</p>		
	<ul style="list-style-type: none"> 個々の生徒の状況に応じて、修学支援に係る援護制度についての丁寧な対応を行う。 	<p>クラス担任や各分掌との連携を密にし、個々の生徒の状況に応じた援護制度について、きめ細かく丁寧な対応を行う。</p>		